

2020年7月17日
足利小山信用金庫

「グリーンボンド」への投資について

足利小山信用金庫（理事長：富田 隆）は、社会貢献活動の一環として、2020年7月に独立行政法人住宅金融支援機構が発行する「グリーンボンド」への投資を行いました。

「グリーンボンド」とは、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー性の向上といった環境改善効果のある事業（グリーンプロジェクト）の資金を調達するために発行される債券のことです。

住宅金融支援機構では、省エネルギー性や耐震性など質の高い住宅を取得する場合に、借入金利を一定期間引き下げる【フラット35】Sを実施しております。本債券は【フラット35】Sの技術基準を満たす住宅のうち「省エネルギー性に優れた新築住宅」を対象とした住宅ローン債権の買取代金を資金用途としたものになります。

当金庫は持続可能な社会の実現のために国際社会全体で取り組むべき目標であるSDGs（Sustainable Development Goals）を宣言し、地域貢献などの社会的要請に応えることとしております。

今後も地域金融機関として、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

記

<購入したグリーンボンドの概要>

銘 柄	一般担保第 295 回住宅金融支援機構債券
年 限	10 年
発 行 額	200 億円
発 行 日	2020 年 7 月 17 日
資 金 使 途	省エネルギー性に優れた新築住宅にかかるローン債権の買取代金

以上

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

